

(別紙4)

公立病院改革プランの概要

団 体 名		糸田町					
プ ラ ン の 名 称		糸田町立緑ヶ丘病院改革プラン					
策 定 日		平成 21年 3月 19日					
対 象 期 間		平成 21年度 ~ 平成 24年度					
病 院 の 現 状	病 院 名	糸田町立緑ヶ丘病院					
	所 在 地	福岡県田川郡糸田町3187番地					
	病 床 数	99床(一般54床・療養45床)					
	診 療 科 目	内科・外科・小児科・耳鼻咽喉科・放射線科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		下田川地区の唯一の公立病院として町民の健康及び、救急医療等の提供。また、田川地区医療圏における各病院、診療所、介護施設等との連携により地区住民の健康増進を図る。					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		①.救急医療の確保に要する経費。②.保健衛生行政事務に要する経費。③.医師等の研究研修に要する経費(1/2)④.基礎年金救済金公的負担経費。⑤.高度医療に要する経費。⑥.リハビリテーションに要する経費。⑦.小児医療に要する費用。					
経 営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	92.5	94.5	96.5	97.7	98.9	
	職員給与費比率	82.9	79.1	77.1	76.2	75.6	
	病床利用率	85.1	88.2	92	93.1	94.2	
上記目標数値設定の考え方		現時点において不良債務の発生はないが、病床利用率の上昇を図ることにより収益の確保、職員の退職による人件費の抑制等や、経費の節減により設定した。 (経常黒字化の目標年度: 24年度)					
					団体名 (病院名)	糸田町	糸田町立緑ヶ丘 病院

公立病院としての医療機能に係る数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	病床利用率の増	85.1	88.2	92	93.1	94.2	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	21年度より外部組織による検討委員会を予定しており、その検討委員会の中で経営形態について、民間譲渡や指定管理制度等の導入を論議する。				
		事業規模・形態の見直し	21年度より外部組織による検討委員会を予定しており、その検討委員会の中で病床数の削減や診療所化についても検討する。				
		経費削減・抑制対策	今後、人件費については正職員退職者の補充については、臨時・嘱託職員で対応していく。経費については21年度より内部委員会(例:業務改善検討委員会)をつくり、職員にも参画することにより意識の向上を図る。				
		収入増加・確保対策	人的配置を考慮しつつ、医業未収金(患者負担分)の回収に取り組む。また、病棟と医事との連携を密に取ることにより退院時における未収金の発生を防ぐことが出来る。				
		その他					
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	91.00%	18年度	86.70%	19年度	85.10%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	施設の増改築の計画はなし。22年度末において、介護療養病床が廃止されることにより病床数の洗い直しをする必要がある。					

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	糸田町立緑ヶ丘病院が所在する田川医療圏内には次の公立・公的病院がある。①公立病院・田川市立病院(342床)・川崎町立病院(102床)・糸田町立緑ヶ丘病院 ②公的病院・社会保険田川病院(348床)	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	福岡県保健医療計画には再編・ネットワーク化に関する具体的な方向性は示されていないが、少子高齢化が急速に進んでいる田川医療圏内においては、社会保険田川病院を拠点とした再編ネットワーク化を視野に検討していくべきと考える。	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> (平成20年度) ・検討、協議の場の設置 ・方向性やスケジュールの検討 経過は右欄のとおり (平成21年度以降) ・継続的な検討を実施	<内容> 二次医療圏内の3つの自治体病院において、医師確保対策や機能分担等に係る連携強化について検討・協議を行なう場を設置し、県の協力も得て検討を進めていく考えである。 ○田川地区公立病院改革プラン検討会による検討経過 ・H20.12.22(第1回) ・H21.02.05(第2回) ・H21.03.06(第3回) ○今後の検討 21年度も引き続き継続して検討を行ない、年度中に一定の結論を予定。
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間譲渡	<input checked="" type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	「糸田町立緑ヶ丘病院評価委員会」を設立し、毎年2回程度改革プランの取り組み状況の点検評価を行なう。(構成メンバーについては未定)	
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年、半期毎を予定	
その他特記事項			

(別紙)

団体名 (病院名)	糸田町	糸田町立緑ヶ丘病院
--------------	-----	-----------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度						
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	
収	1. 医 業 収 益 a	749	736	765	799	799	795	
	(1) 料 金 収 入	685	674	696	730	730	726	
	(2) そ の 他	64	62	69	69	69	69	
	うち他会計負担金	50	45	53	53	53	53	
	2. 医 業 外 収 益	38	43	45	45	45	45	
	(1) 他会計負担金・補助金	36	41	43	43	43	43	
	(2) 国 (県) 補 助 金							
	(3) そ の 他	2	2	2	2	2	2	
	経 常 収 益 (A)	787	779	810	844	844	840	
	入	1. 医 業 費 用 b	823	841	855	875	864	850
(1) 職 員 給 与 費 c		607	610	605	616	609	601	
(2) 材 料 費		74	94	111	119	119	119	
(3) 経 費		112	106	111	115	115	115	
(4) 減 価 償 却 費		27	28	26	23	19	13	
(5) そ の 他		3	3	2	2	2	2	
2. 医 業 外 費 用								
(1) 支 払 利 息								
(2) そ の 他								
経 常 費 用 (B)		823	841	855	875	864	850	
支	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	-36	-62	-45	-31	-20	-10	
	1. 特 別 利 益 (D)							
	2. 特 別 損 失 (E)	2	1					
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	-2	-1					
	純 損 益 (C)+(F)	-38	-63	-45	-31	-20	-10	
	累 積 欠 損 金 (G)	5	-58	-103	-134	-154	-164	
	不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	277	219	174	143	124	114
		流 動 負 債 (イ)	23	23	23	23	23	23
		うち一時借入金						
		翌年度繰越財源(ウ)						
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)								
差引 不 良 債 務 (オ) {(イ)-(エ)} -{(ア)-(ウ)}		▲ 254	▲ 196	▲ 151	▲ 120	▲ 101	▲ 91	
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)	41	58	45	31	19	10		
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	95.6	92.5	94.7	96.5	97.7	98.9		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	-33.9	-26.6	-19.7	-15	-12.6	-11.4		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	91	87.6	89.6	91.5	92.7	93.7		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	81	82.9	79.1	77.1	76.2	75.6		
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	▲ 254	▲ 196	▲ 151	▲ 120	▲ 101	▲ 91		
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	-33.9	-26.6	-19.7	-15	-12.6	-11.4		
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率								
病 床 利 用 率	86.7	85.1	88.2	92	93.1	94.2		

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=(「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること
例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=(「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	糸田町	糸田町立緑ヶ丘病院
--------------	-----	-----------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債						
	2. 他会計出資金						
	3. 他会計負担金	10	10				
	4. 他会計借入金						
	5. 他会計補助金						
	6. 国(県)補助金						
	7. その他						
	収入計 (a)	10	10				
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入分 (c)						
純計(a)-(b)+(c) (A)	10	10					
支 出	1. 建設改良費	26	8	7	7	7	7
	2. 企業債償還金	15	15				
	3. 他会計長期借入金返還金						
	4. その他						
	支出計 (B)	41	23	7	7	7	7
差引不足額 (B)-(A) (C)	31	13	7	7	7	7	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	31	13	7	7	7	7
	2. 利益剰余金処分額						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
計 (D)	31	13	7	7	7	7	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)							
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E)-(F)							

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	(86) 86	(86) 86	(96) 96	(96) 96	(96) 96	(96) 96
資本的収支	(10) 10	(10) 10	()	()	()	()
合計	(96) 96	(96) 96	(96) 96	(96) 96	(96) 96	(96) 96

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。